

事 務 連 絡
令和8年6月5日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局
高 等 学 校 振 興 課
産 業 教 育 振 興 室

建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）の周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、厚生労働省職業安定局建設・港湾対策室より、別添のとおり、建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）について周知依頼がありました。

つきましては、本事業について御了知いただくとともに、このことについて、適宜関係各所に対し、周知いただきますようお願いします。

なお、周知に際してはリーフレットも御活用いただけますと幸いです。

御不明な点などございましたら、厚生労働省職業安定局雇用開発企画課建設・港湾対策室建設労働係へ直接お問い合わせくださいますようお願いします。

※「つなぐ化」事業 ホームページ

<https://tsunaguka.mhlw.go.jp/>

【本件担当】

初等中等教育局高等学校振興課

産業教育振興室産業教育係 03-5253-4111（内線 2384）

職建発 0522 第 2 号
令和 8 年 5 月 22 日

文部科学省初等中等教育局

参事官（高等学校担当）付産業教育振興室長 殿

厚生労働省職業安定局

雇用開発企画課建設・港湾対策室長

（公印省略）

建設業若年者理解・定着促進事業の教育機関に対する周知の協力について

日頃より、職業安定行政の推進にご協力いただきお礼申し上げます。

建設業においては、全就業者に占める若年層の割合が他産業に比べ低いことや、新規高等学校卒業者の入職 3 年後の離職率が他産業より高いことなどから、次世代の担い手の確保が重要な課題の 1 つとなっております。

また、若年入職者の伸び悩みや早期離職の要因として、就職先を決定する過程において、建設業界について知りたい情報を十分に得る機会が少ないことが挙げられます。

このため当省では、若年者の入職・定着促進を図るため、平成 30 年度から「意見交換会」や「出前授業」など、高等学校等の先生・生徒と建設業界がつながる機会を設ける建設業若年者理解・定着促進事業（以下「つなぐ化」事業という。）（別添 1 参照）を実施し、昨年度は高等学校を対象に 147 回事業を実施いたしました。

つきましては、今年度においても、下記のとおり都道府県教育委員会、市区町村教育委員会並びに都道府県担当部局及びその管下の高等学校等（以下「教育委員会等」という。）にご周知の上、「つなぐ化」事業へご参画いただくよう、お取り計らいの程お願い申し上げます。

記

○事業の周知・参画について

- ・「つなぐ化」事業の周知に際しては、周知用リーフレット（別添 2）、建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」事業）の活用をお願い（別添 3）、令和 7 年度版「つなぐ化」事業事例集（別添 4）を教育委員会等に周知いただきたいこと。あわせて、工業高校だけでなく、普通科高校に対しても積極的に周知いただきたいこと。
- ・「つなぐ化」事業への参加を希望する際には、以下のホームページから申し込むよう周知いただきたいこと。

※「つなぐ化」事業 ホームページ (<https://tsunaguka.mhlw.go.jp/>)

＜連絡先＞

厚生労働省職業安定局雇用開発企画課 建設・港湾対策室

建設労働係 武田 takeda-yuri.lp6@mhlw.go.jp

三根 mine-hikari.4k3@mhlw.go.jp

TEL : 03-5253-1111（内線 5804）

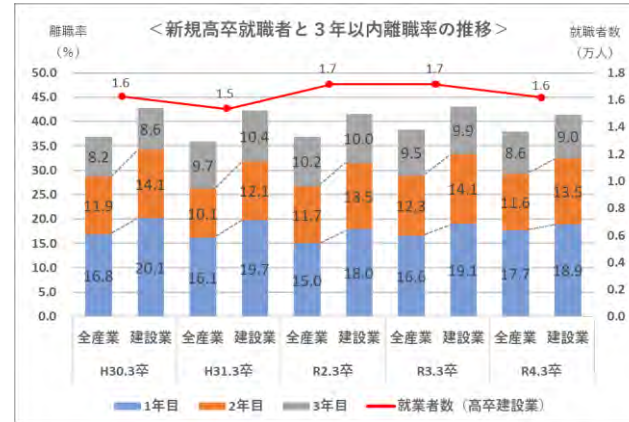
建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」）の実施

令和8年度当初予算 29百万円（29百万円） ※（）内は前年度当初予算額

| 労働特区 | | | 子育特区 | 一般会計 |
|------|----|----|------|------|
| 労災 | 雇用 | 徴収 | 育休 | |
| | ○ | | | |

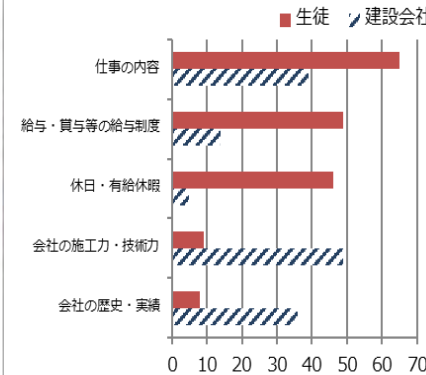
1 事業の目的

- 建設業においては、他産業と比べ高齢化が進行している中、新規高卒就職者の就職後3年以内の離職率は常に全産業平均を上回っており、特に1～2年以内の離職率が高い。
- 離職の背景には、就職先を決定する過程において知りたい情報を十分に得られていないことが挙げられているため、本事業では、若年者と建設業界がつながる機会を提供することで、若年者の建設業に対する理解を深め、職場定着を促進することを目的とする。



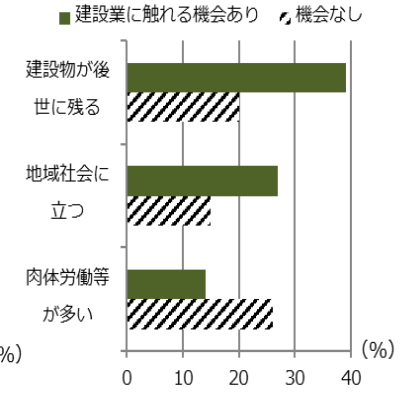
＜文部科学省「学校基本調査」、厚生労働省「新規学卒就職者の離職状況」＞

＜生徒が重要・知りたいと思った情報と会社がアピールしたい情報＞

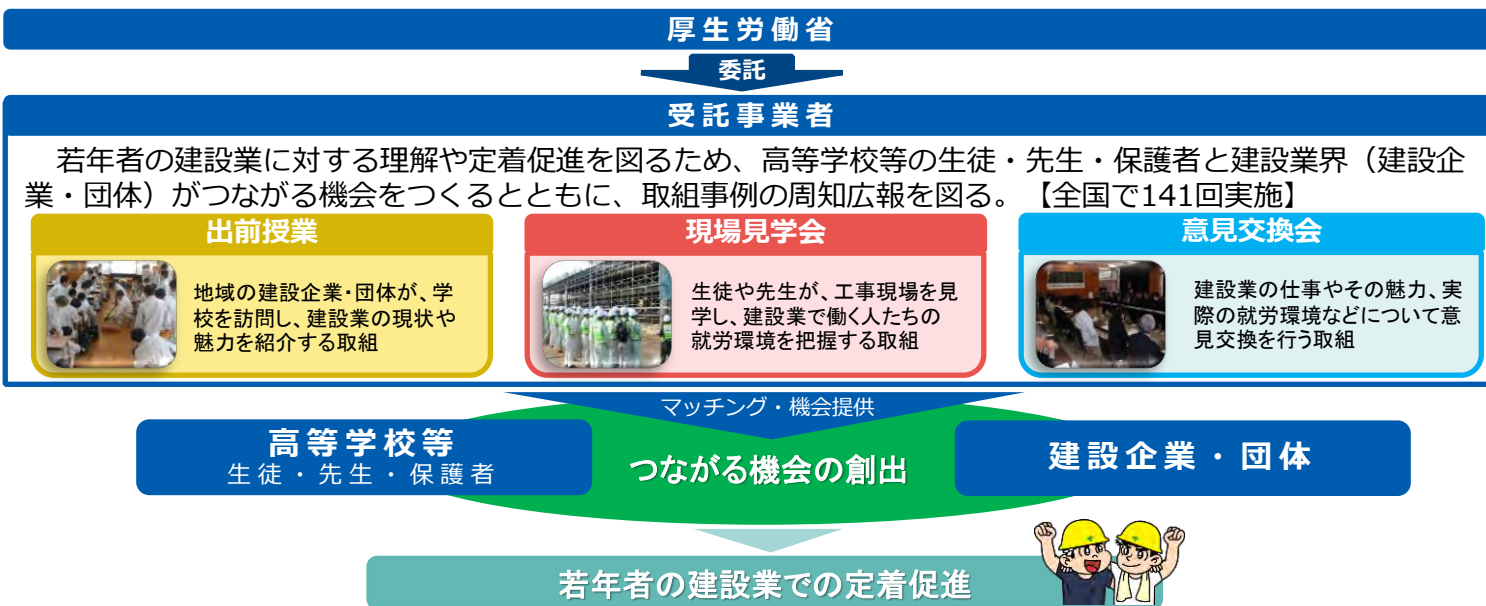


＜国土交通政策研究所：「国土交通分野の将来見通しと人材戦略に関する調査研究」（一部抜粋）＞

＜建設業に対するイメージ＞



2 事業の概要・スキーム



3 実施主体等

- 委託事業により実施
- R6 事業実績（実施回数）

実施回数 151回

（内訳）

出前授業 71回
現場見学会 61回
意見交換会 16回
インターンシップ 15回

※一度の開催で複数事業実施する場合があるため、実施回数と内訳の合計数は異なる

- KPI（事業目標）

- ・ 実施回数 141回以上
- ・ 生徒等に対する事業参加の前後のアンケート調査において、就職先として建設業に関心を持った人数の増加した割合 46%以上

「つなぐ化」事業

令和8年度 建設業若年者理解・定着促進事業

生徒の「知りたい」と建設事業者の「知ってほしい」をつなぎ、
若年者の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着をはかります。

出前授業



地域の中小建設企業・団体などが学校を訪問し、仕事内容やその魅力について紹介します。簡単な実作業などを行うプログラムもあり、プロの技を間近で見ることができるので、建設業の技術を体感してもらい、魅力を知ってもらう機会となります。

現場見学会



地域の中小建設企業・団体などが携わっている工事現場を見学します。工事の規模や背景、使用機材などを実際に目で見て肌で感じると同時に、建設業で働く姿を想像しながら仕事内容や就労環境などを知ることができます。

意見交換会



地域の中小企業・団体などと、高等学校などの生徒・教員が会し、就職や就労環境、建設業界の現状などについて意見交換を行います。女性の活躍の場の拡大や、現場作業のDX化など、進路の検討に役立つお話を建設業界で活躍する方々から聞くことができます。

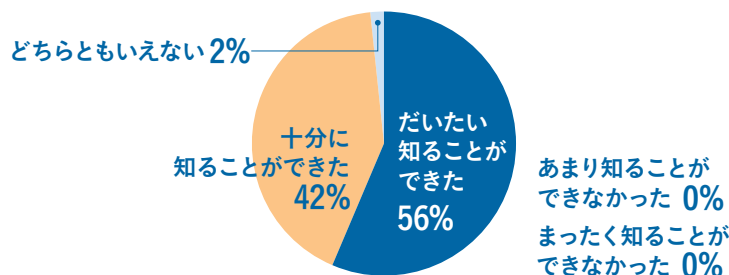
事業内容の詳細やお申し込みについては裏面のURL、
二次元コードからホームページをご覧ください。

「つなぐ化」事業とは？

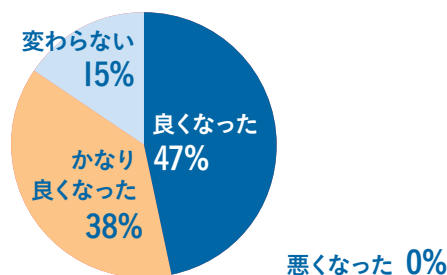
私たちが暮らす社会の土台づくりを担っている建設業。その建設業界の未来をつくっていく担い手を育てるために、生徒の「知りたい」と、建設事業者の「知ってほしい」を結ぶさまざまな機会を創出することで、若年者の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着を図る事業です。

※昨年度の満足度調査では参加者の98%が「知りたかったことを知ることができた」と回答しています。詳しくは下記HPをご覧ください。

知りたかったことに関する満足度



印象の変化



■申込対象者

- 主に地域に密着した建設企業、団体、大手建設会社の協力会構成企業等。
- 高等学校1・2年生と教員、保護者等（専門学校、大学、教育委員会関係者等事業の趣旨に当てはまる方を含みます）。

■お申込み方法

以下の「つなぐ化」事業ホームページにアクセスし、「お申込みフォーム」よりお申込みください。

<https://tsunaguka.mhlw.go.jp>



■お申込みから実施～事後の流れ

- ①「つなぐ化」事業ホームページよりお申込み
- ②事務局より電話又はメールにてお申込みの確認
- ③事務局より必要書類をメール添付等にて送付
- ④事前必要書類（事業計画書他）をご返送
- ⑤事務局と事前打ち合わせ後正式決定
- ⑥実施

※実施後アンケート等のご返送にご協力をお願いいたします。

お願い

- 建設業の理解促進のため、事業実施の様子を事業ホームページや、事例集に掲載させていただく場合がありますのでご理解、ご協力いただけますようお願いいたします。
- 高校生等の進路の決定に当たっては、保護者の方々のご理解と後押しが大きな力となります。事業実施においては、保護者の参加を勧奨くださるようお願いいたします。

□建設キャリアアップシステム(CCUS)のご紹介

国と業界が総力をあげて取り組む、建設業界で働く人を大切に育てるためのシステムです。現場で働いた履歴や保有する資格など、さまざまなキャリア情報を1枚のカードに記録し、技能レベルを可視化します。技能レベルは経験や資格に応じてステップアップします。国と業界では、技能レベルに応じた賃金アップの実現に取り組んでいます。



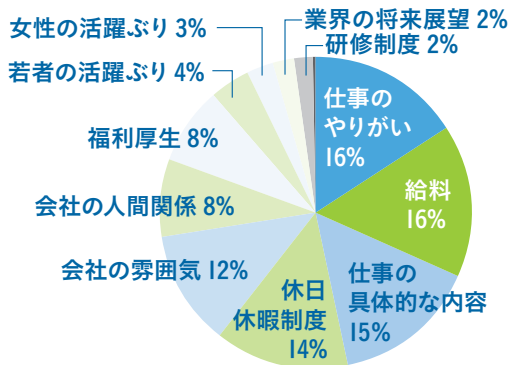
お問い合わせ先

厚生労働省委託事業「つなぐ化」事業 運営事務局 株式会社 東京リーガルマインド **LEC** 東京リーガルマインド 担当：斎田、久保田

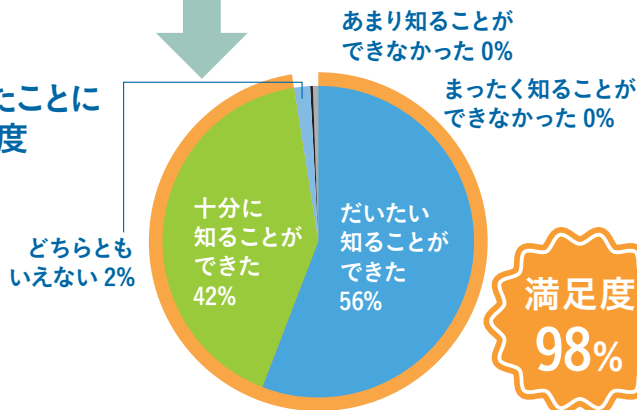
〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10 アーバンネット中野ビル TEL：03-5913-6085(平日10時～17時) E-mail:2026tsunaguka@lec.co.jp

令和7年度「つなぐ化」事業 参加生徒アンケート結果

建設業界について知りたいこと

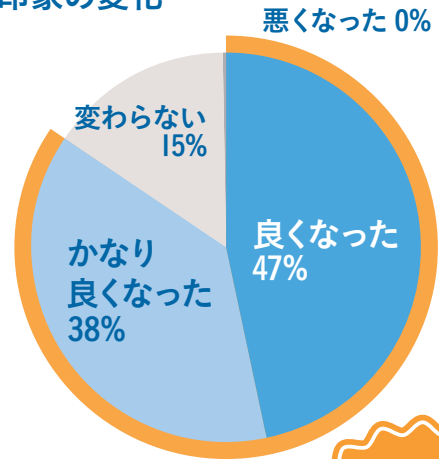


知りたかったことに関する満足度



満足度
98%

建設業界に対する印象の変化



良くなった、
かなり
良くなった
85%

アンケート回答数 3,708名
※令和8年1月時点

都道府県別参加校

北海道

岩見沢農業高等学校
留萌高等学校

青森県

弘前高等技術専門学校
むつ高等技術専門学校
青森公立大学

宮城県

東北大学

秋田県

金足農業高等学校
秋田工業高等学校
大館桂桜高等学校
大曲工業高等学校
男鹿工業高等学校
鹿角工業高等学校
能代科学技術高等学校
由利工業高等学校
横手清陵学院高等学校

福島県

テクノアカデミー会津
会津工業高等学校
小高産業高等学校
喜多方桐桜高等学校
郡山北工業高等学校

栃木県

宇都宮工業高等学校

真岡工業高等学校
那須清峰高等学校

群馬県

利根実業高等学校
前橋工業高等学校

埼玉県

熊谷工業高等学校
共栄大学
いずみ高等学校

東京都

東洋大学
日本工業大学
日本大学
葛西工科高等学校
桜美林大学
国士館大学
田無工科高等学校
東京農業大学
東京電機大学

神奈川県

神奈川工科大学

長野県

上田千曲高等学校
長野工業高等学校
丸子修学館高等学校

新潟県

糸魚川白嶺高等学校

富山県

高岡工芸高等学校
富山工業高等学校
南砺福野高等学校

岐阜県

可児工業高等学校
大垣工業高等学校
岐阜工業高等学校
岐阜総合学園高等学校

静岡県

浜松工業高等学校

愛知県

愛知学院大学
愛知工業大学
愛知大学
名古屋高等専門学校
名古屋市工芸高等学校
三河高等技術専門学校
大同大学
中京大学
東海工業専門学校熱田校
トライデントコンピュータ専門学校
中部大学
名古屋工業高等学校
名古屋工業大学

名古屋商科大学

南山大学
日本福祉大学
名城大学

三重県

三重大学

京都府

宮津天橋高等学校

大阪府

金剛高等学校
箕面東高等学校
大阪大学
西成高等学校
西野田工科高等学校
東住吉総合高等学校
布施工科高等学校
都島工業高等学校
修成建設専門学校

兵庫県

科学技術高等学校
尼崎工業高等学校
篠山産業高等学校
飾磨工業高等学校
龍野北高等学校
東播工業高等学校
豊岡総合高等学校
西脇工業高等学校

姫路工業高等学校
兵庫工業高等学校

島根県

出雲工業高等学校
江津工業高等学校
益田翔陽高等学校
松江工業高等学校

岡山県

岡山後楽館高等学校

広島県

広島工業高等学校

山口県

岩国工業高等学校
宇部西高等学校
田布施農工高等学校
萩商工高等学校
山口農業高等学校

徳島県

阿南光高等学校

福岡県

遠賀高等学校
九州大学
福岡大学
筑紫台高等学校

長崎県

鹿町工業高等学校
長崎大学

佐世保工業高等学校
長崎工業高等学校

熊本県

熊本大学
熊本工業高等学校

大分県

日田林工業高等学校

宮崎県

産業技術専門学校
延岡工業高等学校
宮崎工業高等学校
都城工業高等学校

鹿児島県

鹿児島大学

計

116校

建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」事業）の活用をお願い

日頃より、職業安定行政の推進にご協力いただきお礼申し上げます。

厚生労働省では、若年者の建設業に対する理解や定着促進を図るため、高等学校等の先生・生徒等と建設業界がつながる機会をつくる事業を行っており、主に以下のような取組を行っております。

- ・ 出 前 授 業：建設事業者が学校を訪問し、建設業務や技術を紹介する授業を行う
- ・ 現場見学会：先生・生徒等に建設現場を見学してもらう
- ・ 意見交換会：建設業界の現状について、先生・生徒等と建設事業者で意見交換を行う

上記のような取組の実施を希望される場合、受託者である(株)東京リーガルマインドにお申し込み(※)いただければ、相手方となる建設事業者の選定等、受託者よりサポートを行います。生徒の皆様のキャリア教育などに、是非当事業をご活用下さい。

また、事業実施にあたっては、生徒の就職活動に大きな影響を与える保護者の参加も促しながら取組を進めて参りたいと思いますので、ご理解、ご協力いただけますと幸いです。

ご不明点がございましたら、以下【連絡先】の担当者宛ご連絡をお願いいたします。

(※)「つなぐ化」事業への参加を希望する際には、以下のホームページからお申し込みください。

「つなぐ化」事業 ホームページ (<https://tsunaguka.mhlw.go.jp/>)

【活用事例】

| 授業として活用する事例 | |
|-------------|--|
| 実習（出前講座） | 瓦施工、左官、大工、水道設備、生コン試験練り、電気工事、型枠施工、測量、板金、クロス張り、シーリング打ち、ドローン操作 など |
| 現場見学会 | 施工現場見学 |
| 課外活動に活用する事例 | |
| 文化祭 | 生徒が指導を受けながらステージの組立及び解体を実施 |
| 就職指導に活用する事例 | |
| 会社見学会 | 地域を支える建設事業者への訪問 |
| インターンシップ | 身近な公共施設のベンチ設置やビオトープ造成補助 など |
| 意見交換会 | 建設事業者を招いてのセミナー、懇談 など |

【連絡先】

厚生労働省職業安定局雇用開発企画課 建設・港湾対策室 建設労働係 武田・三根

TEL：03-5253-1111（内線 5804）

知って
ほしい

建設業界

「つなぐ化」事業 事例集

知りたい

生徒

「つなぐ化」事業とは…

生徒の「知りたい」と建設事業者の「知ってほしい」をつなぎ、
若年者の建設業への理解を深め、
建設業界への入職促進と職場定着をはかる事業です。
この事例集をご覧ください、来年度のご活用をご検討ください。

① 出前授業

地域の中小建設企業・団体などが学校を訪問し、仕事内容やその魅力について紹介します。簡単な実作業などを行うプログラムもあり、プロの技を間近で見ることができるので、建設業の技術を体感してもらい、魅力を知ってもらう機会となります。



② 現場見学会

地域の中小建設企業・団体などが携わっている工事現場を見学します。工事の規模や背景、使用機材などを実際に目で見て肌で感じると同時に、建設業で働く姿を想像しながら仕事内容や就労環境などを知ることができます。



③ 意見交換会

地域の中小企業・団体などと、高等学校などの生徒・教員が会し、就職や就労環境、建設業界の現状などについて意見交換を行います。女性の活躍の場の拡大や、現場作業のDX化など、進路の検討に役立つお話を建設業界で活躍する方々から聞くことができます。



測量技術体験



受講生徒

北海道岩見沢農業高等学校農業土木工学科
〒068-0818 北海道岩見沢市並木町1-5
TEL：0126-22-1030

実施日

令和7年9月16日(火)

実施場所

北海道岩見沢農業高等学校

実施団体・企業

北海道空知建設業協会
〒068-0028 北海道岩見沢市8条西3丁目1-2
TEL：0126-23-1836

実施内容

建設業には欠かすことができない測量の基本と、ドローン等を使用する最新の技術を体験した。
測量作業の基準点となる測量機器TS(トータルステーション)の据え付け等の作業の合間には技能者との意見交換もすることができ、有意義な時間を共有できた。



生徒感想

測量現場の雰囲気がとても良く働きやすそうだった。

測量技術に関して以前より深く知ることができた。

最新の測量技術を実際に体験することができたので楽しかった。



学校・教諭からのコメント

本校では、2018年度から地元の空知建設業協会と連携授業を行っています。担い手育成のため基礎基本はもちろん、最先端の土木技術についての

連携学習も進めています。2025年度は「つなぐ化」事業を活用して、連携授業をより深化させることができました。本当にありがとうございます。



団体・企業からのコメント

実際の測量機材に触れることで、日々の座学授業で習ったことを実践できたのではないかと思います。今後も「つなぐ化」事業の出前授業を続けていくことで、

建設業への担い手確保につながることを期待しております。

港湾工事見学



受講生徒

秋田県立金足農業高等学校環境土木科
〒010-0126 秋田県秋田市金足追分字海老穴102-4
TEL：018-873-3311

実施日

令和7年7月28日(月)

実施場所

秋田港 港湾工事現場

実施団体・企業

株式会社加藤建設
秋田県男鹿市弘戸字大樋16番1
TEL:0185-46-3105

実施内容

港湾事務所の業務内容を知り、防波堤や港の役割を知るために海上の杭打ち作業を見学した。

併せて洋上工事を専門に行う船の役割等の説明を聞くことにより、建設業が担う多岐にわたる領域への知見を広げた。



生徒感想

一般では入ることができない港湾の工事現場を見学することができたことは貴重な体験であり、知らないことを多く学ぶことができた。

大規模な港湾工事はやりがいのある現場であると思った。

大きな現場であるにも関わらず働いている人達の雰囲気が良いと思った。



学校・教諭からのコメント

今回の工事見学では港湾に特化した内容を実施していただきました。生徒にとって初めての見学・説明会で、日頃から授業で学んでいる内容を定着できる良い機会となりました。また、今回の学びから

進路目標が定まっていない生徒も将来の仕事として意識することができました。来年もぜひ実施できればと思います。



団体・企業からのコメント

土木工事の現場というと通常目には見ることができない陸上工事を思い浮かべますが、今回は港湾工事を見てもらい、普段あまり知ることのできない作業船の能力、作

業方法等、生徒の皆さんの目には新鮮だったかと思います。この業界はおもしろい、やりがいがあると感じていただけることを期待しております。

建築作業体験



受講生徒

東京都立葛西工科高等学校建築科
〒132-0024 東京都江戸川区一之江7丁目68-1
TEL：03-3653-4111

実施日

令和7年7月23日(水)

実施場所

東京都立葛西工科高等学校

実施団体・企業

利根沼田テクノアカデミー他
〒378-0313 群馬県沼田市利根町日影南郷335-1
TEL：0278-25-8852

実施内容

小屋組みの垂木を一定間隔に配置し、軒桁・母屋に垂木掛けをして取り付ける方法を指導いただいた結果、垂木を生徒自ら取り付けられるようになった。また、生徒が各自の役割を担い、安全に配慮しながら徐々に上棟までの作業を続けることができた。



生徒・保護者感想

多くの団体、企業の方との作業を通じ現場の空気感をよく知ることができた。

プロの技能者の方々と作業することにより仕事のやりがいや十分に実感することができた。

実際に自分の子供が実習しているところを見ることができ、親子共に良い勉強になった。(保護者)



学校・教諭からのコメント

本校は、従来の取組の深化と新たな領域の探索を通じ工業教育機関としての価値向上と社会課題の解決にデジタル技術とともに取り組んでおり、従来の実習はもとより、建築やまちづくりのデジタルツ

インに特化した授業の新しい形態を目指しています。今回の出前授業はその意味からも意義ある授業だったと思います。



団体・企業からのコメント

当校訓練卒業生を講師として葛西工科高校へ派遣し、沼田市産木材を使った木造実習棟づくりを指導しました。若手職人と生徒が協力して完成させ、完成後は3D

モデリング等建設DXや建設時におけるCO₂削減を目指すLCCMに関しても学び、建築の魅力を感じてもらえました。

木造建築素材生産現場見学



受講生徒

長野県上田千曲高等学校建築科
〒386-8585 長野県上田市中之条626
TEL：0268-22-7070

実施日

令和7年10月24日(金)

実施場所

小県郡の山林伐採現場、製材工場、住宅建設現場等

実施団体・企業

長野県建設業協会上小支部
〒386-0014 長野県上田市材木町1丁目2-31
TEL：0268-24-8133

実施内容

長野県小県郡長和町の山林で、伐採現場の様子を見学し、製材工場
で、丸太から木材を製材する工程を学んだ。更に一部に県産材を使用
する北佐久郡立科町の町営住宅建設現場、長野県東御市の工場倉
庫建設現場で、施工の実際について学習した。



生徒感想

普段は入ることができないような山林
伐採現場まで行き、現場でしか分から
ない様々な事を学ぶことができた。

伐採現場、製材所、建築現場
で働いている人の雰囲気
が全部良かった。

それぞれの現場の雰囲気や
仕事内容などを沢山学ぶこ
とができた。



学校・教諭からのコメント

進路に向け建築業のリアルを学ぶには現場見学が
欠かせないので、毎年「つなぐ化」事業にお世話に
なっています。支援をいただくことによってバス移
動が可能となり、見学場所の選択肢が広がります。

今年度は初めて木材の伐採現場と製材工場を訪ね
ました。生徒たちの将来の選択肢の一つとなること
を願っております。



団体・企業からのコメント

普段あまり目にする機会がない樹木の伐採から木材
加工、住宅建築までの一連の流れを見学してもらいま
した。建築材料としての木材の特徴や魅力をより深く

理解してもらえたと感じました。この経験が将来、地元
産の木材を生かした建築関連の仕事につながることを
期待しています。

建築現場体験(意見交換会)



受講生徒

大阪府立西成高等学校普通科
〒557-0062 大阪府大阪市西成区津守1丁目13番10号
TEL：06-6562-5751

実施日

令和7年6月13日(金)

実施場所

大阪府立西成高等学校

実施団体・企業

建設専門工事業雇用推進協会
〒536-0007 大阪府大阪市城東区成育1丁目3番9号 402号室
TEL：06-6180-3270

実施内容

屋外中庭の藤棚の屋根の造作工事(屋根板の取り付け)、屋根取り付け(前日組み立てた足場使用)の技能体験学習、足場解体(とび)の技能体験学習を行った。その後、現役技能者との意見交換会を実施し、建設専門工事業についての理解をさらに深めた。



生徒感想

卒業生先輩の話を聞くことができたので良かった。

建設業に関してあまり良い印象は持っていなかったが、この授業を通して印象が良くなった。

みんなで何かを作り上げることがとても楽しかった。



学校・教諭からのコメント

出前授業で学校や家庭ではできない体験をさせていただきました。興味のある仕事が現実的にできるとわかり、夢をかなえた生徒もいます。これから

も「つなぐ化」事業を継続していただけると嬉しいです。



団体・企業からのコメント

今回の出前授業は、前年度に改修したベンチ上の藤棚に屋根を付ける施工体験を経験してもらいました。屋根の材料に塗料を塗り、足場を組み、造作で屋根を付ける過程を経験してもらうことで1つの建物に様々な職

種が関係することを学んでもらえたと思います。また、意見交換会では実際に働いている卒業生に話を聞くことで働くイメージをより明確につかんでもらえたと思います。

建築素材加工体験



受講生徒

福岡県 筑紫台高等学校総合学科ものづくり系列
〒818-0119 福岡県太宰府市連歌屋1丁目1番1号
TEL：092-923-0010

実施日

令和7年11月21日(金)

実施場所

福岡県 筑紫台高等学校

実施団体・企業

一般社団法人太宰府あんしんの家
〒818-0121 福岡県太宰府市青山1-7-1

実施内容

吉野檜についての説明の後、カンナの使い方の注意事項とアドバイスを受けたことで、コツを掴んでどんどん削っていけるようになった。最後は面取り用のカンナの使い方を学習し授業を終了した。



生徒感想

木材の種類、産地、加工の道具、仕事内容など将来役に立つことを沢山教わった。

自分でものを作るときに、できることがかなり広がった。

自分のやりたいことに多く当てはまっていて、この職業に就きたいという意欲が高まった。



学校・教諭からのコメント

生徒は、今回の出前授業を通して日頃からお世話になっている地域の職人の方々に教わるという貴重な体験をさせていただきました。大工という職業はもちろ

ん、社会人として必要なことも話して頂きました。短い時間ではありましたが、生徒たちは多くの学びを得ることができたように思います。



団体・企業からのコメント

大工の後継者不足が問題となる中、将来の進路として大工に関心を持つ生徒も複数おり、今後は、生徒や保護者が安心して進路として選択できるよう、工務店と連

携した受け入れ体制の整備が課題と感じました。現場の見学や手仕事の体験を通して、ものづくりを職業とする将来像を描いてもらいたいと考えています。